

海の宝をめぐる学びと体験 マリン・ラーニング

CHIBA



海と日本PROJECT

いのちを育む“海” ～海の生物多様性を学ぼう！



平成30年8月11日(土・祝)

午前9:30～午後3:00

当日が荒天の場合、8月26日(日)午前9:30～午後3:00に延期

参加者募集中

対象・定員：中学生・高校生、40名

開催場所：千葉県勝浦市 千葉県立中央博物館分館 海の博物館

参加費：無料（ただし傷害保険料として、おひとり50円が必要です）

詳しくは裏面をご覧ください

千葉県立中央博物館 分館海の博物館

千葉県勝浦市吉尾123

TEL：0470-76-1133 FAX：0470-76-1821

共催：北海道大学大学院水産科学研究院

*このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

海の生物多様性を体感しよう！

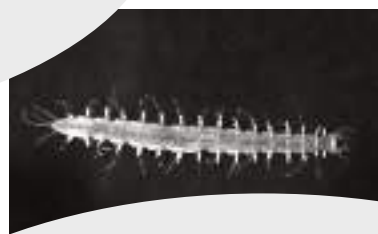
「いのちを育む“海”～海の生物多様性を学ぼう！」では、千葉県勝浦市の磯で、魚、ウニ、ヤドカリ、イソギンチャクなど、ふだん陸上では見られない生物を観察します。この夏、海の生物多様性にふれてみましょう！

「海の生物多様性」とは、海にいろいろな生物がいる、ということです。当たり前だと思われるかもしれませんが、実は、現在知られている生物の種類数は、海より陸の方がはるかに多いのです。既知の生物種の約6割を占める昆虫や、地上の多くを覆う維管束植物は、海にはほとんどいません。それにもかかわらず、海には多様な生物がいると感じるのは、なぜでしょう？また、どうして多様な生物がくらしていただけるのでしょうか？

このイベントでは、さまざまな海の生物の観察をとおり、生物多様性について考えてみます。

海の生物、多様なグループ

海では、カイメン、イソギンチャク、貝類、甲殻類、ウニ、魚など様々なグループの生物が見つかります。海では陸上より多様なグループの生物がくらしています。見た目も体の作りも全く違う生物たちが見られるので、海には多様な生物がいて、容易に感じられます。



ヤドカリから見る生物多様性

磯にいる多様な生物の中で、ヤドカリに注目してみます。勝浦の磯では数種類のヤドカリが見られます。複数種のヤドカリたちがなぜ共存していただけるのか、不思議ではないですか？

ヤドカリをとおり、生物多様性について考えてみましょう。

講師 和田 哲（北海道大学大学院水産科学研究院、動物生態学研究室、教授）＊荒天延期の場合、不参加
村田明久（千葉県立中央博物館分館海の博物館 主任上席研究員）

申込方法

「マリナーニング参加希望」と明記の上、

- ①学校・部活で参加する場合：学校名、代表者（引率教員）名、連絡先、参加する生徒の学年と人数
 - ②個人で参加する場合：参加者名、学年、連絡先、学校名
- を記入し、ハガキ、FAX、電子メールのいずれかでお申し込みください。

申込締切：平成30年7月31日(火) (必着) (申込多数の場合は抽選となります)

お問合せ・お申込み先

千葉県立中央博物館分館海の博物館

〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123

TEL: 0470-76-1133 FAX: 0470-76-1821

e-mail: umihaku@chiba-muse.or.jp

URL: <http://www2.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/index.html>

